

KAMI RAKUGO
BIMONTHLY
MAGAZINE
2011 No.19

**TAKE
FREE**

かみ落語
桂三枝

Special

第三回 ～新しい夢の幕が上がる～

社会人落語 日本一決定戦

平成二十三年
九月十七日(土)・十八日(日)



【ご挨拶】大会総括 **桂 三枝**

応募!
開始!
応募シート付

【トピックス】「大落語会」出演者決定／倉田薫 池田市長インタビュー

社会人落語日本一決定戦

予選

平成23年
9月17日(土)

【会場】大阪府池田市内各会場
【参加人数】150名前後

※観覧無料。
※予選終了後、決勝進出者発表を兼ねた懇親会を開催します。

決勝

平成23年
9月18日(日)

【会場】池田市民文化会館
アゼリアホール

※観覧無料。事前の整理券が必要となります。
(落語みゆーじあむにて7月より配布予定)

賞金

1位・50万円
+
日清のどん兵衛
1年分



2位・20万円
+
日清の
どん兵衛 半年分



3位・10万円
+
日清の
どん兵衛 1ヶ月分



市長賞
日清
チキンラーメン
1年分

審査員



審査委員長
大会統括
桂三枝 (上方落語協会会長)

藤本 義一 (作家)

難波 利三 (作家)

三遊亭 円楽 (東京)

大会実行委員長
倉田 薫 (池田市長)

他落語家 6名



参加資格 学生をのぞいた社会人であること。
(主婦、フリーター、定年退職者等は含まれます)
落語に関して、アマチュアであること。

※過去一位を受賞した方は出場できません。
※大会時の画像、映像などの管理および権利は大会事務局管理と致します。

事前審査 映像、または音源

応募シートに必要事項を記入し、予選用の演目を収録した映像、または音源と共に、事務局まで郵送下さい。

※音源の場合は、高座風景をおさめた写真を同封して下さい。
※予選と決勝で上演する演目は別でもかまいません。
※自作の創作落語も可。ただし、差別的・わいせつ的な表現、特定の個人・団体の誹謗中傷にあたる内容は不可とします。

応募期間 現在受付中～7月10日(日)まで(必着)

映像、音源による事前審査は、応募順にて行います。
締めきり間際のご応募につきましては、可否の発表通知が若干遅くなる可能性がございますことを予めご了承下さい。

予選会

【参加人数】150名前後
【制限時間】10分以内

※事前審査により150名前後を選出。出場者人数は事前審査終了後に発表します。
※予選会は10分経過時点で出囃子が鳴り強制終了、また減点対象となります。
※出囃子、下げ囃子は共にCDを使用。ハメモノ等、オリジナルの演出がある場合は、事前に事務局に申請して下さい。

決勝戦

【進出者】10名(予定)
【制限時間】12分以内

予選終了後、出演者による懇親会を開催。
その折、決勝進出者の発表を行う予定です。

※決勝戦での時間超過は、大幅な減点対象となります。

発表 7月末～8月上旬(予定)

応募者全員に封書にてお知らせ致します。

※事前審査・内容および経過に関してのお問合せにはお答えいたしかねますことご了承下さい。

【問合先】社会人落語日本一決定戦大会事務局
TEL:072-753-4443
HP:www.kamigatadairakugosai.com
mixi 公式コミュニティ
『社会人落語日本一決定戦事務局』
ツイッター名 『shakaijinrakugo』



それぞれの人生観が凝縮される

落語に生き様が反映される。

それが落語やから。そういう風に落語は発達してきたからね。初めは短かった小噺を長くしていったね。昔で言えば素人が集まって、その中から噺の上手な人がプロになっていったわけですから。もとはみんなアマチュアですから。

生き様というのは言い換えれば共感という……、そういう意味では社会人落語は非常に良い形で、2回目にして成熟してきたなど。今後が楽しみです。

僕は一方で学生落語の大会もやってるので、そのうち若い人も大勢出てくると思います。若い人は社会にでたら順応するのに時間がかかるんで、落語をするゆとりがないんでしょうね。若い社会人が出てきたときに、ピックアップするかたちを持つとかなないとね。

審査もいま道筋を作っている段階ですけど、上手すぎるというので落ちるのは変やし、上手いというのも評価しないといけないし。でも上手い下手というのは、流暢に喋ることじゃないんだということも審査員はわかってないかんしね。新しい感覚、目の付け所、センスっていうものが必要になってくるね。今年は、事前審査の段階からもっと大事にしていきたいですね。

例えば、フリーターやニートの人が出てきてもおもしろいですよね。バイトの内容とか、「時給これだけや」とか、そういうのが出てくると、社会へのアピールにもなりますね。野球でも学生とプロの交流がはじまりましたよね。やっていることに違いはないわけですから。プロも刺激をもらってね、社会人に負けられない落語をするぞっていう気持ちにならないと。僕はそういう気持ちにさせてもらえるので。落語は日本の文化遺産ですから、それをみんなで共有する、垣根は無いと思います。

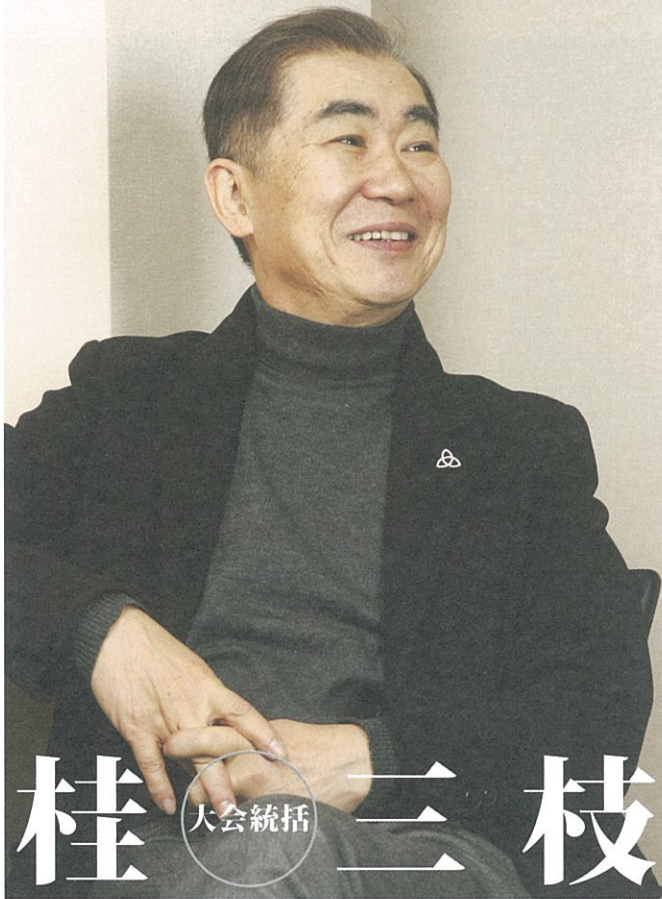
三枝流・創作をつくる秘訣とは？

……100個くらいあるからねえ(笑)。これ、いうのは言われへんけど。

日頃の観察、普段の生活の中でこれはおもしろいなとか、これはヒドイなとか、これは考えさせられるなとか、何でもええんでね。このあいだ僕、番組で俳句やってる人の話聞いたら、感じたことを常に書いてると一日があつという間過ぎてしまうと、それでもって一日が充実してきたとおっしゃるんですね。笑いも一緒に、書き留めたものをひとつにまとめたら、ひとつの落語になってくると思います。

漫才やコントみたいな笑わせ方が落語に入ってる人もいるけど無理に笑わすんじゃないくて、落語というのは人の生活の中からにじみ出てくる笑いですから。短くてもいいから噺をつくって稽古しているうちに、少しずつ落語になっていくんでしょうね。

でも古典を踏まえてきっちりやっていかないと、落語の作り方もわからへんやろうし。同じ職場で作る側と演じる側が出てくるかもしれませんね。そうなってくると社会人落語のひとつの方向性が見えてくると思います。



桂三枝

大会統括

2回目を終えて。「社会人らしさ」とは。

大会の審査員長を務めるにあたって、プロに近い上手さより、社会人らしい落語の上手さを見てきたんですが、2年やって良い形になったと思います。決勝に残られた皆様は、社会人らしさが非常にあって、全体のレベルとしても上がっていました。優勝された方は、たまたま創作落語でしたけども、努力されてるのがよくわかりましたし、らしさみたいなものもよく出てましたね。

学生の場合だと4年間ですけど、意外と大学のカラーだったり、先輩から引き継いでいる伝統のようなものがあってね、わりと表現にしても身動きできない。そういうのがプロになってもそのままやって、それがプロの口調や思ってやるから、僕はそういうのが好きじゃないんでね。でも社会人は一匹狼やからそれぞれの芸も自由だし、普段の生活の中から出たことを自然に喋るように感じますね。生活観が落語に入ってるね、それぞれの日常で感じたことをネタに反映しているものも多くあって、マクラにしてもそれぞれの仕事を生かしたセンスがよく出ていました。仕事の行き帰りに稽古したりするんでしょけど、きっと稽古量も多いですね。

大会後、耳にしたのが、「アマチュア落語家」と呼ばれるより「社会人落語家」って呼ばれるほうがうれしいと。アマチュアという言葉は、どこまでいってもプロじゃないという感じがありますよね。プロでも2、3年目はそれほど上手やないし、何十年やってても稽古もあんまりせん人はたいした落語家やないし。もちろんそうであってはいけませんが、プロいうだけで胡坐かいてる落語家もおるからね。

そういう意味でプロと社会人は立っている土壌が違うだけですね。落語に対する思いとか情熱、内容や質は変わらないんだという部分を社会人落語には期待していますし、そういうものを見せてほしいですね。

と落語に、思いのたけをぶつけてほしい。

学校の先生がチーム組んで、学校内での問題、不登校の生徒をどういう風にして登校さすかというようなシビアなネタをストーリーにしてね、笑いを入れて、最後には大きな笑いで。そういう落語は僕には出来ないから。

プロには出来ない落語を作って、そうして出来上がったものをプロが演じるようになれば、プロと社会人の壁も無くなってくるし、社会人落語家が頑張ることによって落語が盛り上がるわけですからね。今後、プロになる人も出てくるやろうし。

第3回大会へ向けて。

落語を見て、「あんなふうにはしゃべられへんなあ」という人も、そんなことはないんだと。思っていることを気持ちで伝えられるようになれば、それは是非とも参加してほしい。1回がダメでも2回、3回やってるうちに上手になりますから、まずは落語を聴くことから始めてほしいですね。

後は、やっぱり自分たちの生活感を出すと共に、爽やかに演じてほしいということですね。笑いがあればいいものでもないしね、下ネタいうたりとか、そういうことじゃない。その人それぞれの人生観が凝縮された落語を披露してくれたらなと。

来年はどこへ泊まろうとかね、お金も貯めないとかかんやろうし、アマチュア落語の会を見に行つて、どんなふうにしたらええんやろか?とかね、会社をリタイヤした人とかの楽し

みになっているのもうれしいし、本当にやってよかったなど。

こんな世の中で、不況で生きがいの少ない時代に、生きがいを持って落語の稽古したり、物を見たりとかね、辛い事が家に帰ったら多いけど、そんな中で落語やってる、それが一番楽しい、そういう言葉を聞くと非常にうれしいですね。続けてやってもらいたし、やがて社会人落語の動きがもっと大きくなったら、我々もこういう人たちに助けてもらえると思います。

切り拓くのはあなたです!

社会人の持っている社会性もほしいんですけど、型破りな落語をやる人にもドンドン出てきてほしい。落語がどういものかわからなくても、自分の思いのたけをぶつけてほしい。長さも手ごろだし、笑いと感動と、非常に難しいもんやけど、時代であるとか、その人の生き様を反映するもんだから。それがアマチュアの中に広まって、社会人の中で『一杯のかけそば』っていう話が広がったように、社会人が作った落語が広まっていったら、これはおもしろいと思いますね。そんな時代が来たらおもしろいし、来る予感がありますね。



大会フィナーレ ～大落語会～

桂
三
枝

三枝・円楽
二人会

七月発売開始

三遊亭
円楽

9月18日(日) 11時30分開場
12時開演

池田市民文化会館(アゼリアホール)

【問合せ】社会人落語日本一決定戦大会事務局(落語みゅーじあむ内) TEL:072-753-4443

事前審査 応募方法

[大会公式ホームページ]
www.kamigatadairakugosai.com

下記2点をご用意頂き、大会事務局までご送付ください。

◆ 応募シート (この頁の下部)

◆ 予選用の演目を映した映像、もしくは音源素材 (過去1年以内のもの)

映像の場合は、DVD-R・VHSビデオテープを、
音源の場合は、CD-R・MDに、高座風景をおさめた写真を同封して下さい。
郵便局エクスパック、またはレターパックにてのご郵送をお願い致します。

※映像・写真に関しては、高座を撮影したものとします。また、お洋服、ご自宅での撮影でも結構です。
※お送りいただくメディアとケースの両方に、名前・演目を明記して下さい。
※お送りいただいた映像・音源および応募用紙は実行委員会が保管し、返却には応じかねますのでご了承下さい。
※出場申込で頂いた個人情報は、出場に関する連絡のほかには使用致しません。

予選参加者は150名前後を予定。事前審査後、可否を封書にてお知らせします。

送付先

〒563-0058
大阪府池田市栄本町7-3
落語みゅーじあむ内

『**社会人落語日本一決定戦大会事務局**』

TEL: 072-753-4443 FAX: 072-753-4447

キリ ✂ トリ

第3回 社会人落語日本一決定戦 事前審査応募シート

各項目に記入し、上記応募方法をご確認の上、大会事務局までお送り下さい。

本名	ふりがな	高座名	ふりがな	年齢	歳

住所	ふりがな	職業
	〒	

電話番号	E-mail
------	--------

演目	予選	決勝	事前審査
			※音源が予選演目と違う場合のみご記入下さい。

意気込み	
------	--



【電車】
J R 新大阪駅より約35分
J R 東海道本線→『J R 大阪駅』
阪急梅田駅宝塚本線急行→『阪急池田駅』



【飛行機】
大阪空港（伊丹空港）より約15分
大阪モノレール→『阪急池田駅』
阪急宝塚本線急行→『阪急池田駅』

池田と落語

池田市は、浪花の都から北へ五里（約二十キロ）に位置し、北摂をつなぐ街道沿いの城下町でした。江戸時代、上方文化の流通を担う北の都として往来は人で溢れ、池田ならではの芸術や文化が数多く生まれました。落語では、「池田の猪買い」や、「生ほめ」といった作品に描かれ、上方落語に縁深い土地として知られています。

初代大会を踏まえての二回目は、あらためて落語を演じる方々の熱意に感動させられました。優勝された方は地元に戻って、より人気者になられて、「あの人が社会人落語の日本一や」と。また今年も今年で、三代目の日本一をめざしているいろいろな地域から池田にやってくるんだろうな、という広がりを感じるとともに感じています。

大会後、三位までの方には、桜の木の植樹に参加していただいているんですが、大会自体もあいつた風に、根をはり、花を咲かせることができればいいですね。落語愛好者がみんな池田に行こうと、池田で日本一に挑戦しよう、そういうことが三回目で形になるんじゃないかなという気はしています。一年に一度、落語愛好者が全国から一同に介することのできる、そんな場づくりを提供できるのがうれしいですし、「じゃ、来年また池田で会おう」と。それが合言葉になればいいなと思います。

大会に参加をお考えの皆さまも、池田市は、まちを存分に楽しめる歴史と文化、自然と伝統に恵まれたところですから、できるなら大勢で、ぜひ池田にお越しください。

大会実行委員長



池田市長 倉田 薫

臯月

【休館日】 6日(金) / 10日(火)
17日(火) / 24日(火)
31日(火)

5月7日(土) 9時30分～正午
アマチュア落語講座(中級・上級)

5月14日(土) 9時30分～正午
アマチュア落語講座(中級・上級)

5月14日(土) 14時～
第54回 落語みゆーじあむ寄席

桂 さろめ 「ご祝儀」
桂 三 金 「蛇含草」
桂 枝三郎 「蛸芝居」

【木戸銭】 前売 1000円 当日 1500円
※前売券発売中 (電話予約可 ☎072-753-4440)



5月21日(土) 9時30分～正午
第5期アマチュア落語講座(初級)
アマチュア落語講座(中級・上級)

5月28日(土) 9時30分～正午
第5期アマチュア落語講座(初級)

水無月

【休館日】 7日(火)
14日(火) / 21日(火)
28日(火)

6月4日(土) 9時30分～正午
アマチュア落語講座(中級・上級)

6月11日(土) 9時30分～正午
アマチュア落語講座(中級・上級)

6月11日(土) 14時～
第55回 落語みゆーじあむ寄席

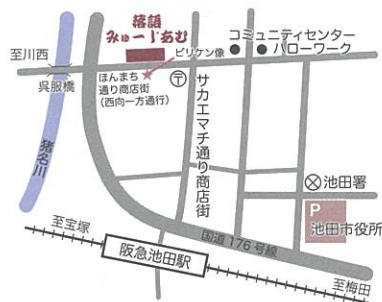
笑福亭 喬若 「ご祝儀」
桂 文 三 「芋俵」
桂 三 歩 「生まれ変わり」

【木戸銭】 前売 1000円 当日 1500円
※前売券発売中 (電話予約可 ☎072-753-4440)

6月25日(土) 9時30分～正午
第5期アマチュア落語講座(初級)

6月25日(土) 9時30分～正午
アマチュア落語講座(中級・上級)

落語みゆーじあむ イベントスケジュール 2011.5-6



〒563-0058 大阪府池田市栄本町 7-3
電話: 072-753-4440
FAX: 072-753-4447

開館時間: 11時～19時
休 館 日: 火曜日、年末年始
※火曜祝日の場合、翌日休館
入 館 料: 無料
(落語会などは木戸銭が必要です)
※専用駐車場はございません。

《最寄駅》
阪急電車宝塚線「池田駅」下車
(阪急梅田駅から急行で約20分)
改札を出て栄町方面へ徒歩約7分

《協力》
上方落語協会